令和4年度 宇都宮城歴史講演会 「戦国の城郭都市。宇都宮多気」

宇都宮の西北、大谷地区にある多気山は、戦国時代末期に「新宇都宮」と呼ばれていた。宇都宮城主宇都宮国綱は小田原北条氏の侵攻に備え、1585年に本拠を多気山一帯へと移し、同氏家臣をはじめ、城下の住民も大挙して多気山麓に移り住んだ。つまり、多気は宇都宮に替わる新たな城郭都市であり、それゆえ「新宇都宮」と呼ばれた。北関東でも最大規模の城郭都市・多気はどのようにして成立し、また終焉を迎えたのか?

講師 江田 郁夫氏(宇都宮短期大学人間福祉学科教授)

【日 時】 令和 4 年 8 月 2 8 日 (日) 午前 1 0 時~ 1 1時 3 0 分

【場 所】 栃木県総合文化センター サブホール

【定 員】 150名

【参加費】 500円(資料代等)

※市民の会会員は無料。当日も入会受付いたします。

【申込方法】住所・氏名・電話番号・(ファクス番号)・歴史講演会 聴講希望と明記し、下記事務局までお申込ください。 (定員になり次第締切とさせていただきます。) ※市民の会会員の方はその旨も明記してください。

「よみがえれ!宇都宮城」市民の会事務局

〒320-8540 宇都宮市旭1-1-5 宇都宮市役所公園管理課 TEL 028-632-2989 FAX 028-632-5418 Eメール u55002200@city.utsunomiya.tochigi.jp 歴史が愉快だ字都宮

※新型コロナウイルスの感染拡大状況により、急遽講演会を中止する可能性がございます。 また、講演当日を含め、緊急事態宣言・まん延防止等重点措置が発令されている地域からの ご参加は自粛をご検討くださいますようお願いいたします。